

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人なかよし会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

障害者の地域社会参加促進事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

養護学校高等部を卒業したあとも、障害種別や障害程度を問わない集団を作りたい。作業を優先とした既存の作業所の活動にはついていけない、最重度の施設では物足りない。そんな集団でも、地域社会での存在意義や、必要意義を感じられるような活動をしたい。そんな願いからこの事業を始めました。しかしながら、このような事業は現行制度では、強いて言えば地域活動支援事業にしか位置付けることができない法外事業でしかなく、しかし障害者自立支援法が提唱する道へと繋がる活動に成り得ると考えます。障害者自立支援法ではカバーできないカテゴリーへの事業であり、実は必須の事業であると考えます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

1. 三鷹台団地住民を対象にクロネコヤマトメール便を配達する業務。
2. グループホーム「あんじゅ」の業務委託。
 - ① 汚物処理のための用紙制作。
 - ② ガーゼの準備制作。
3. 地域農家から仕入れた野菜の販売。
4. 地域の方々から募集した講師による、作業などの実習。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

クロネコメール便の配達においては、利用者がどの程度できて、どの程度手助けが必要かを判断し、工夫して実践を続けました。それによって利用者の方々の仕事に担える喜びを感じていただけました。グループホーム「あんじゅ」の業務委託においては、道具を工夫すれば上手に用紙を折ることができるなどの工夫を取り入れ、円滑に仕事を担えるようになりました。地域農家から仕入れた野菜の販売においては、定期的に実施日をお知らせするチラシを近隣に配布し、来客数もかなり増え、利用者も接客がかなり上達しました。地域の方々から募集した講師による、作業などの実習においては、紙すき、裁縫、絵画などの実習を導入しました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

クロネコヤマトのメール便配達業務を継続的に行うことにより、地域住民の方々にもかなり認知していただくことができました。その一方で、地域農家から仕入れた野菜の販売を週二回行い、そのチラシも近隣の方々にも配布し、継続的に取り組んだことによって、産地直送の地元野菜が手に入るという機会になり、楽しみにしていただけの地域住民の方々もかなり増えてきました。なにより、グループホーム「あんじゅ」の業務委託も併せて、利用者の方々、人々に必要とされる仕事を担える喜びを感じてくれるようになりました。まだ改良の余地は多くありますが、利用者が生き生きとした笑顔で毎日を過ごすことができるようになっていきます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし